



# 志岐小通信 麴泉の風

校訓「かしこく」「やさしく」「たくましく」

令和3年度 1月20日 第9号 文責：瑞穂 良頭

## 穏やかなお正月とともに令和4年がスタートしました！

保護者の皆様、地域の皆様、  
 明けましておめでとうございます。  
 昨年、志岐小学校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。新年早々、変異株が急拡大し、今後様々な困難が予測されますが、皆様のご協力をいただきながら、「学びを止めない」ために、志岐小学校は、今年も最大限『寅イ(トライ)』していきたいと思っております。  
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



リモートで始業式！

今年のお正月は、好天にも恵まれ、暖かく穏やかな令和4年の幕開けとなりました。新型コロナの感染状況も落ち着いていましたので、しばらく会えなかった親戚の皆様とも2年ぶりの再会を果たせたという子どもたちも多かったのではないのでしょうか。志岐小学校としましても、お陰様で、大きな



甲田先生が3学期の生活面について話をしてくださりました！

事故やけがもなく、全員が元気に3学期を迎えることができました。

冬休み期間中、保護者の皆様、地域の皆様にご理解とご協力をいただき、温かく見守っていただきましたことに改めて感謝申し上げます。

しかし、新年を迎えてまもなく、新型コロナ変異株の勢いは、数倍増の勢いで日々感染拡大しています。本校としましても、これまでの経験値を踏まえながら、今後も感染拡大の未然防止に最大限努めてまいりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

さて、始まったばかりの3学期ですが、その期間は大変短く、今の学年のゴールは、もう目の前まで来ています。そこで、そのような子どもたちに、始業式では、皆様よくご存じの「ウサギとカメ」という童話の話をしました。ウサギとカメが、どちらが早く山のとっぺんまで到着するか競争するお話です。

概略としましては、「足が速いウサギはどんどん先へ行き、ついにカメが見えなくなります。ウサギは大きくリードしたので、余裕を見せて居眠りをしてしまいます。その間にカメは着実に進み、ウサギが目を覚ました時には、時すでに遅く、カメが先にゴールする」というお話です。

このお話は、明治時代に国語の教科書にも「油断大敵」というタイトルで掲載されていたそうです。このお話から学ぶべきことは、大きく3つあります。

1つ目は「もう大丈夫だ！と気を抜いてはいけないということ」、2つ目は「真面目に

コツコツと努力すること」です。  
 この2つの事は、よく知られていますが、この物語には、3つ目の教訓があります。

それは、ウサギとカメが山を登る際、それぞれの「見ているところが違う」ということです。ウサギは、競争相手であるカメを見ていました。だから、大差をつけたときにもう大丈夫だと油断したのです。しかし、カメはずっとゴールを見ていました。もし、カメが居眠りしているウサギを見ていたとしたら、カメも途中で休んだかもしれません。



## 【学校教育目標】

# 「自分大好き、友だち大好き、志岐小大好きと 笑顔でいえる子どもを育てる」

～ふるさと『志岐』を愛し、地域に

積極的に貢献する人材の育成～



【志岐小HP QRコード】

☆志岐小として身につけさせたい力「思いやりの心」「学び続ける力」「健康」「絆」

つまりカメは、競争相手のウサギではなく、ひたすらゴールを見ていたから、歩みの遅いカメがウサギに勝てたのです。カメのように「しっかり目標を立て、その目標を見失うことなく、地道にゴールまでやり抜く事」が大切です。この事は、新型コロナとの闘いも長期戦の3年目に入っているからこそ、やり場のない怒りを抱き、今の困難な社会を試行錯誤しながら生き抜いている、私たち大人にも教訓となるものだと感じています。令和4年、新たな年を迎えた志岐っ子たちにも、友だちを気にしたり、周りのことをうかがったりすることなく、自分の目標を立て、ゴールを見すえてコツコツと努力を積み重ねてほしいと思っています。そして、目の前に迫っている現学年のゴール、どのような姿でゴールテープを切るのかが、次の学年のスタートにもつながっていきます。

さあ、これから始まる仕上げの3学期、『学びを止めない=寅イ(トライ)し続けること』です。カメさんのように、しっかり目標を持って、自分のゴールをしっかりと見つめて、自分として、クラスとして、志岐小としてラストスパートをかけていきたいと思ひます。

今こそ、私たち大人が、『命の大切さ』を伝える時です！

昨年、他県において中学生同士

の殺傷事件がありました。この事件だけではなく、最近、暴力や放火、ある事件を真似た事件など、大切な人の命を安易に奪ってしまうという事件が増えていると感じます。自殺する人もここ数年は大きく増加しています。昨年は、1月から11月までに全国で約19000の人が自殺しているそうです。令和2年に自殺した小中高校生は499人、その前の年に比べると100人ほど増えています。昨年は、1月から10月までに368人の小中高校生が自殺で命を亡くしています。終わりの見えないコロナ禍の影響もあるのでしょうか。

志岐小の子どもたちには、将来にわたって自分や家族、友だちの命を大切にするために、困難に遭遇した時こそ、「物事を冷静に考え、相談できる人になってほしい」と思ひます。「相談する」ことは、人と人が力を合わせる第一歩でもあります。

人それぞれに与えられた命はひとつしかありません。なくなつた命は、二度と戻ってはきません。人は命の限り、生きる権利をもっています。その権利を奪うことは、誰にも絶対に許されません。コロナ禍3年目を迎へ思うこととして、「子どもたちの様々な学びや体験活動の中で、身をもって『実感すること』が、その後の人生において生きて働く力につながる」という事です。子どもたちが自



県人権啓発キャラクター

他の命を大切にするためには、自分自身が誰かの大切な存在であるということを実感する

ことだと思ひます。私たち大人は、様々な機会をとらえて、色々な言葉や行動を通して、「あなたは私にとって大切なんだよ」ということをしっかりと伝えることが重要だと思ひます。これは、私たち大人同士も同じことが言えます。志岐小の子ども一人一人が、自分が大切にされていることを実感し、お互いを、そして志岐小を大切に、自分たちの成長を美惑できる学び舎を目指したいと思ひています。

## 【2月の行事予定】

1	火	委員会活動
2	水	
3	木	志岐小体験入学
4	金	児童朝会 クラス対抗長縄大会
5	土	
6	日	
7	月	人権週間
8	火	毛筆指導3年
9	水	
10	木	
11	金	● 建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	1・2年読み聞かせ
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	児童集会 児童総会
19	土	
20	日	授業参観 PTA総会 懇談会
21	月	振替休業日
22	火	
23	水	● 天皇誕生日
24	木	
25	金	児童朝会
26	土	
27	日	
28	月	第3回漢字・計算大会週間 身体測定週間